

島原半島ジオパーク研修が行われました。

1年生の島原半島ジオパーク研修が行われました。島原半島ジオパークは、世界ジオパークネットワークに日本で初めて認定されたジオパークです。

この研修では、千々石断層、土石流被災家屋、雲仙岳災害記念館などを訪れ、自然の驚異を実感し、噴火のメカニズムや断層形成の仕組みを学びます。また、そこに暮らす人々と自然災害との関わりや温泉や湧き水の自然の恵みと人の暮らしについて研修し、科学的な視点だけでなく、自然と人間の共生について学びます。

事前研修



長崎遊游学「島原半島ジオパークをひと筆書きで一周する」の編著者である長崎県教育センターの寺井邦久先生に、ジオパークについて講義していただきました。

千々石断層

プレートの動きの影響で、島原半島は年に数センチ引っ張られ、千々石断層と金浜断層の間がひび割れ沈んでいる。それが見られるのがこの地点です。実際に断層を見ながら説明を聞くとその規模の大きさに驚きます。



千々石断層を見ながらガイドの方の説明を聞きます。

千々石展望台で
集合写真



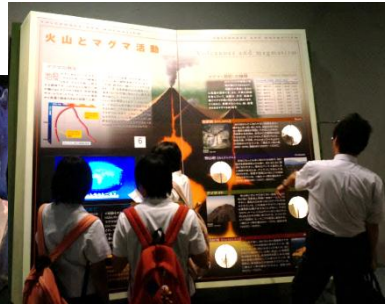
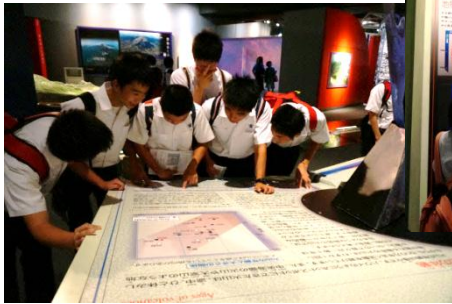
雲仙岳災害記念館

雲仙岳災害記念館は全国初の火山体験学習型観光施設です。

記念館のガイドの方に説明を聞き、平成噴火や火砕流の疑似体験、江戸時代の噴火について学習しました。



災害記念館からの平成新山と眉山



熱心に説明を読んでいます。



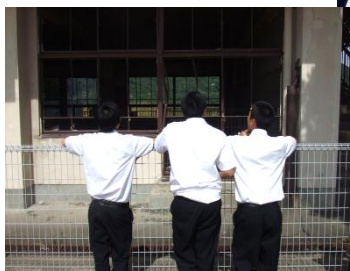
眉山崩壊の説明を聞いています。

旧大野木場小学校被災校舎・砂防未来館

火砕流で被災した旧大野木場小学校の見学です。被災した校舎を見ながらそのときの様子を聞き、その悲惨さを生徒達は感じていました。



被災したクスノキ



校舎の様子に唖然とする生徒達

校舎を見ながら当時の様子を聞きます。



説明を聞きながらメモをとります。

土石流被災家屋保存公園

島原市と南島原市の境を流れる水無川でたびたびおきた土石流で、埋没した家屋を保存した公園です。

屋根の下まで土に埋もれた家を見て土石流のすごさに初めて気づき生徒達は驚いていました。



被災家屋を前に説明を聞きます。

仁田峠

仁田峠からは、平成新山を間近に見ることができます。溶岩ドームの急峻な地形と、そこから伸びる崖がきれいに観察できます。火砕流や土石流の被災域、導流堤、また、深江断層や布津断層を観察することができます。



展望台でガイドの方の説明を聞きます。



展望台からの眺めです。左の写真はロープウェイとその後ろに平成新山が見えます。右の写真は雲仙のまちを見下ろした写真です。



平成新山を間近に見ながら、説明を聞きます。

島原半島ジオパーク研修に協力していただいた、長崎県教育センターの寺井先生、長崎大学の馬越先生、災害記念館の長井先生、大野先生、長崎南高旧職員の阪口先生、ありがとうございました。